

大府市 日本語 ボランティア スキルアップ講座

オンラインやスマホを使った支援を考える

令和3年（2021年）1月17日13時～

場所：大府市役所会議室

認定NPO法人 理事長 森 顕子

プラス・エデュケートとはどんな団体ですか。



理事長 森 顕子（もり あきこ）

経歴：愛知教育大学教育学部総合科学課程日本語教育学科卒。

その後大手進学塾の人気講師となり約10年務めた後、結婚を機に退職。高校講師を経て、愛知県に戻る。その際県内在住の外国人児童生徒の窮状をしり、プラス・エデュケートを立ち上げ活動を始め、現在に至る

- プラス・エデュケートは豊明市にある認定NPO団体です。日本語指導を中心的に行っているのは「ボランティア」ではなく、「専門的な知識をもったプロボノ人材または、その研修を受けた人材」です

※プロボノ＝ラテン語で「公共善のために」を意味する「pro bono publice」の略です各分野の専門家が、自分の専門知識や経験を生かして社会貢献する活動を指します。

- プラス・エデュケートは、活動開始（2009年～）から一貫して「子どもへの日本語指導」に主眼を置いています。
- プラス・エデュケートの日本語指導担当者は①教員免許保持者 ②日本語教育専門学科（主専攻）卒業者というおおか、かつプラス・エデュケートでの100時間以上の研修修了者のみです。
- 独自の指導法とカリキュラム・教材をもとに3か月の集中指導をすることで、大きな成果を上げています。
- 特に南米系・東南アジア系の子どもを多数指導し、他とは違う大きな成果をあげています。＝これまでの指導人数は約800人（2013～2020年）

プラス・エデュケートとはどんな団体ですか。

【主な沿革】

平成21年7月	豊明市内の豊明団地の一室を借り上げる。
平成21年8月	外国人児童に対する夏休み学習支援教室を代表が1人で始める。
平成21年9月	外国人児童生徒に対する放課後学習支援教室を始める。 NPO団体プラス・エデュケートを設立する。
平成21年10月	文部科学省委託 愛知教育大学主催「虹の架け橋教室事業」 (定住外国人の就学支援事業) を始める。
平成22年10月	豊明市地域国際化推進事業でコーディネータを担う。
平成23年1月	文化庁「生活者としての外国人」のための日本語教育事業受託。 外国籍生徒のための作文講座を行う。
平成23年8月	「ブラッシュアップ日本語講座」大人向けの日本語教室を行う。
平成24年4月	NPO団体から特定非営利活動(NPO)法人となって活動を継続する。
平成25年4月	豊明市プレクラス・プレスクール(初期日本語指導)事業を始める。
平成27年2月	虹の架け橋教室事業が完了する
平成27年3月	不就学・不登校児童生徒のための就学促進事業を自主事業として継続する。
平成28年4月	碧南市日本語初期指導教室「いっぽ教室」事業の委託をうける。
平成29年6月	安城市日本語初期指導教室「わかば教室」事業の委託をうける。(～平成30年度まで)
令和元年9月	中学生以上のための日本語指導教室を始める。
令和2年4月～	コロナ感染予防のため、オンラインでの放課後支援を始める。

詳しくはHP・FB(プラス・エデュケートで検索)・twitterにて

私たちの取り組みがTVに取り上げられました。

TBS News【SDGs 2030年の世界へ】ゼロからの日本語教育
<https://www.facebook.com/watch/?v=663482617728015>

語学教育とテクノロジー

そもそも、私たちが英語を学校で習ったときは・・・

ラジオ

テレビ

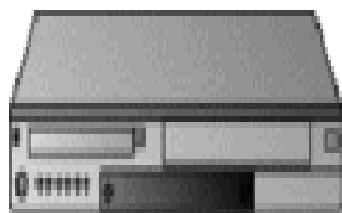
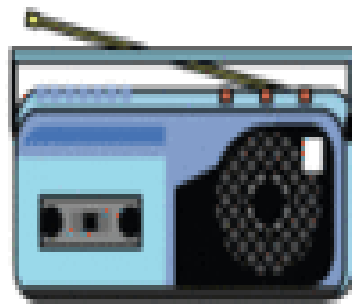
カセットテープ

CD・MD

ビデオ

ビデオデッキ

ラジカセ



パソコン・インターネット

双方向での情報発信、
複数メディアの利用が可能に。

CD-ROMが普及

Skype などを使った通話が可能に

スマホとSNSの普及

(モバイル可能＝持ち運びできるから
いつでもどこでも が実現)

プラスエデュケートのオンライン授業の様子
を見てみましょう。

自分の授業を振り返ってみましょう

- ① あなたの授業の目標・目的は何ですか。
- ② それは学習者の目標・目的と合致していますか。
- ③ 目標達成のための手段（＝ハウツー How to）は何ですか。
 - ・テキスト主体ですか？それとも自分で教材を作成しますか。
 - ・カリキュラムはありますか。
- ④ あなたの授業にテクノロジーを導入する必要がありますか。



学習者が求めている授業とはどんなものでしょうか。

大人の学習者に対する教育：知識を与えるだけでは必要とされない？

→インターネットで調べる。
書籍を買う。
you tubeで授業も見られる。

クリエイティブな学びの場としなくてはいけない。
教師は知識の伝達者ではなく、学習者が能動的に学べるような場を
作ってサポートしていく必要がある。

ネット上の教材いろいろ

インターネット上には様々な教材が **無料公開** されています。

①文化庁HP

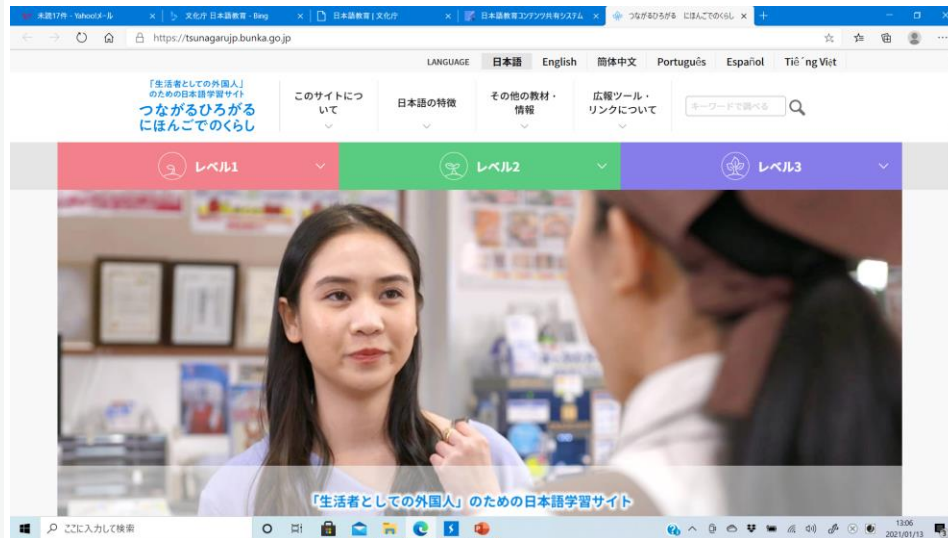


②国際交流基金HP



③文科省HP「かすたねっと」←子ども向け

文化庁作成 ～つながるひろがるにほんごでのくらし～



音声指導にスマホを使ってみる

VoiceTra (ボイストラ)
(NICT 国立研究開発法人情報通信研究機構 が開発)

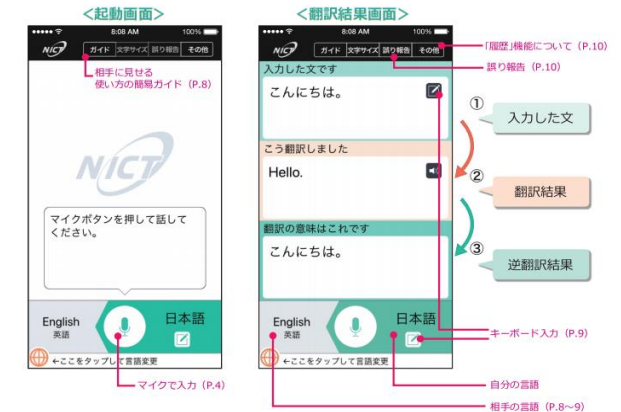
やってみましょう

- ①天気 と 電気
- ②チヂミ と しじみ
- ③おかあさん と 岡さん
- ④きっぷ売り場は こちらです。
- ④シャワーのあとのレモンサワー

VoiceTra 概要

VoiceTraの翻訳結果画面には、「①自分が入力した文」を「②相手の言語に翻訳」し、さらに その翻訳結果を「③自分の言語に翻訳」して表示されます。

①と③が同じ意味ならば、②の翻訳結果は正しいと確認できる仕組みになっています。



このようなときは...

- ・「①入力した文」が、あなたが話した内容と全く違う場合
マイクで音声をうまく拾えていない可能性があります。
→『(1) マイクを使って入力するときは...』(P.4) をご覧ください。

- ・「①入力した文」が、あなたが話した内容と少し違う場合
→『(2) うまく認識されないときは...』(P.5) をご覧ください。

※「認識に失敗しました」などのエラーが出て、マイクで入力できない場合は、 アイコンをタップし、キーボードで入力してください。
詳細は、『(5) キーボードで入力するときは...』(P.9) をご覧ください。
音声入力に対応していない言語もありますので、VoiceTra サポートページ (<https://voicetra.nict.go.jp/>) の「翻訳できる言語 (一覧)」もご確認ください。

- ・「③逆翻訳結果」(結果の確認) が、全く違う場合
→『(3) うまく翻訳されないときは...』(P.6) をご覧ください。

ズームを使ってみましょう。

ズーム (ZOOM)は、だれでも簡単に、今から使える 便利ツールです！！

最後に、お願い

本日は講座に参加いただき、ありがとうございました。みなさまの参考になることが少しでもあったら幸いです。
さて、プラス・エデュケートでは団体の会員となって活動を応援してくださる方、
団体の活動資金のために寄付をしていただける方を募集しております。
2020年11月27日付
で、愛知県内において、この分野で初めての認定NPO法人となりました。寄付をしていただけた方は、税制優遇が受けられる可能性がございます。ぜひご検討ください。

また、メルマガ会員も募集しております。そちらも登録もぜひ、よろしく願いいたします。

